

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名): ステンケヤ M-1
供給者の会社名称: 株式会社 タセト
住所: 〒251-0014 神奈川県藤沢市宮前 100-1
担当部門: 品質保証グループ
電話番号: 0466-29-5636
緊急連絡先及び電話番号: 0466-29-5638 (化学品技術グループ)
推奨用途: 弱酸性電解研磨液
使用上の制限: 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐ

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分に該当しない
	* 記載のない物理化学的危険性は、分類対象外か分類できない。	
健康有害性:	急性毒性(経口)	区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	区分4
	急性毒性(吸入: 気体)	区分に該当しない(分類対象外)
	急性毒性(吸入: 蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入: 粉じん及びミスト)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	生殖毒性・授乳に対する 又は授乳を介した影響	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性:	水生環境有害性 短期 (急性)	区分3
	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H312 皮膚に接触すると有害
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H318 重篤な眼の損傷
H332 吸入すると有害(ミスト)
H370 呼吸器の障害
H402 水生生物に有害

注意書き:

【安全対策】

P201 使用前に取扱説明書(カタログ等)を入手すること。
P202 全ての安全注意(本SDS等)を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260 ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
P273 必要などき以外は、環境への放出を避けること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- P301+P330+P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- P302+ P352 皮膚に付着した場合: 多量の水／石鹼で洗うこと。
- P332+ P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること。
- P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P304+ P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P314 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
- P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337+ P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。
- P308+ P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。

【保管】

- P102 子供の手の届かないところに置くこと。
- P403+ P233 容器を密閉して、涼しく換気の良い場所で保管すること。

【廃棄】

- P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って産業廃棄物として処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

成分及び含有量:

化学名（一般名）	濃度 (wt%)	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)
りん酸	78～83	7664-38-2	(1)-422
水	18～23	7732-18-5	—
添加剤	<3	非公開	非公開

危険有害成分:

労働安全衛生法 57条の2の通知対象物質

化学名	CAS No.
りん酸	7664-38-2

4. 応急措置

- 吸入した場合: 被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合: 汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚を速やかに洗浄すること。
多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。
- 眼に入った場合: 水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
医師の診察、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。
- 急性症状及び遅発性症状
の最も重要な徴候症状: 吸入した場合: 灼熱感、咳、息切れ、咽頭痛。
皮膚に付着した場合: 発赤、痛み、皮膚熱傷、水疱。
眼に入った場合: 痛み、発赤、重度の熱傷。
経口摂取: 腹痛、灼熱感、ショック又は虚脱。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤: 小火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、散水
大火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤、散水
- 使ってはならない消火剤: 情報なし
- 火災時の特有の危険有害性: 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

容器内に水を入れてはいけない。
消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具
及び予防措置:

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置:

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
漏洩区域には、無関係者及び保護具未着用者の出入りを禁止する。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
適切な保護具を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
風上に留まる。
低地から離れる。
密閉された場所は換気する。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
環境中に放出してはならない。
封じ込め、浄化の方法及び機材:

危険でなければ漏れを止める。
漏出物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。
乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収するか、あるいは覆って容器に移す。
二次災害の防止策:

全ての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策:

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気:

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項:

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行う。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用する。
容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、又は引きずる等の粗暴な取扱いをしない。
接触回避:

「10. 安定性及び反応性」を参照
衛生対策:

取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保管 技術的対策:

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
安全な保管条件:

容器は直射日光や錆の発生しやすいところを避けて保管する。
容器を密閉して換気の良い場所で保管する。
安全な容器包装材料:

国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:

設定されていない

許容濃度(ばく露限界値)

日本産業衛生学会(2023年版): 1 mg/m³ りん酸

ACGIH(2023年版): TLV-TWA 1 mg/m³ りん酸

TLV-STEL 3 mg/m³ りん酸

設備対策:

この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
ヒューム、ミスト、蒸気が発生するときは、空気中の濃度を推奨された許容濃度(ばく露限度)以下に保つために、換気装置を設置する。
保護具 呼吸用保護具:

適切な呼吸用保護具(酸性物質用マスクなど)を使用すること。
手の保護具:

適切な保護手袋(耐酸性ゴム手袋など)を着用すること。
「厚生労働省HP 透過試験データ一覧表」参照
眼、顔面の保護具:

適切な眼の保護具を着用すること。
保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)。

皮膚及び身体 の保護具： 適切な保護衣(前掛け)、顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態、形状、色など：	無色透明液体
臭い：	なし
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	100℃付近 (リン酸としての参考値)
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界 ／可燃限界：	データなし
引火点：	データなし
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	<1
動粘性率：	データなし
溶解度：	水に易溶
蒸気圧：	約2 hPa (20℃) (リン酸としての参考値)
密度及び／又は相対密度：	1.6
相対ガス密度(空気 = 1)：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：	アルカリ性物質と反応する。 鉄、アルミニウムなどの金属を腐食し、可能性の水素ガスを発生する。
化学的安定性：	常温では安定であるが、350℃以上になれば殆どの金属物質と反応し水素ガスを発生する。
危険有害反応可能性：	中程度の酸性である。塩基と激しく反応する。
避けるべき条件：	アルデヒド、シアン化物、ケトン、フェノール、エステル、硫化物、有機ハロゲン化合物と接触すると分解し、有毒なヒュームを生じる。 燃焼すると、有毒なヒューム(リン酸化物)を生成する。
混触危険物質：	多くの金属を侵して引火性/爆発性気体(水素)を生じる。 アゾ化合物、エポキシド、アルデヒド、シアン化物、ケトン、フェノール、エステル、硫化物、有機ハロゲン化合物との接触に注意する。
危険有害な分解生成物：	燃焼の際は、リン酸化物等が生成される。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)：	りん酸：ラット LD ₅₀ 1,530 mg/kg (原料SDS) 急性毒性推定値(ATEmix) >2,000 mg/kgのため、国連GHS分類では区分5に該当する。しかしながら、対象国(日本)危険有害性区分補正処理により、区分に該当しないとした。
急性毒性(経皮)：	りん酸：ウサギ LD ₅₀ 2,740 mg/kg (原料SDS)
急性毒性(吸入：気体)：	区分に該当しない。(分類対象外)
急性毒性(吸入：蒸気)：	有用な情報がなく分類できない。
急性毒性(吸入：粉じん及びミスト)：	りん酸：ラット LD ₅₀ 3,846 mg/m ³ (原料SDS)
皮膚腐食性／刺激性：	りん酸：区分1 区分1に分類される成分が5%以上含まれているため、区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	りん酸：区分1 区分1に分類される成分が3%以上含まれているため、区分1とした。
呼吸器感作性：	有用な情報がなく分類できない。
皮膚感作性：	有用な情報がなく分類できない。
生殖細胞変異原性：	有用な情報がなく分類できない。
発がん性：	有用な情報がなく分類できない。
生殖毒性：	有用な情報がなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	りん酸：区分1(呼吸器) 区分1(呼吸器)に分類される成分が10%以上含まれているため、区分1(呼吸器)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	有用な情報がなく分類できない。
誤えん有害性：	有用な情報がなく分類できない。
誤えん有害性：	有用な情報がなく分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性:	水生環境有害性 短期 (急性)	りん酸: 区分3 【加算法】((毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3)により、全成分の合計が濃度限界(25%)以上のため、区分3とした。
残留性・分解性:	水生環境有害性 長期 (慢性)	有用な情報がなく分類できない。
生体蓄積性:	データなし	
土壤中の移動性:	データなし	
オゾン層への有害性:	データなし	
	有用な情報がなく分類できない。	

13. 廃棄上の注意

- 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報:
- ・ 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
 - ・ 水溶液は、アルカリで中和した後処理する。
 - ・ 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。
 - ・ 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
 - ・ 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
 - ・ 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 - ・ 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上輸送:	IMOの規制に従う。
航空輸送:	ICAO/IATAの規制に従う。
UN No.(国連番号):	3264
Proper Shipping Name(品名):	Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (その他の腐食性液体(酸性、無機物))
Class(国連分類):	8
Packing Group(容器等級):	III
輸送又は輸送手段に関する特別な安全対策:	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。
国内規制がある場合の規制情報:	
陸上輸送:	消防法等、該当法に定められた運送方法に従う。
海上輸送:	船舶安全法等、該当法に定められた運送方法に従う。
航空輸送:	航空法等、該当法に定められた運送方法に従う。
緊急時応急措置指針番号:	154 毒性物質および/または腐食性物質(不燃性)

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険有害物	
化学名	CAS No.
りん酸	7664-38-2
がん原性物質:	該当せず
濃度基準値設定物質:	該当せず
皮膚等障害化学物質:	りん酸
有機溶剤中毒予防規則:	非該当
特定化学物質障害予防規則:	非該当
消防法:	非該当
毒物及び劇物取締法:	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法):	非該当
船舶安全法:	腐食性物質 (危険物船舶運送及び貯蔵規則 第3条 告示別表第1)
航空法:	腐食性物質

(航空法施行規則 第194条 告示別表第1)

16. その他の情報

参考文献等:

- 1) 独立行政法人 製品評価技術機構(NITE) GHS分類結果
 - 2) JIS Z 7252:2019「GHSに基づく化学品の分類方法」
 - 3) JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
 - 4) 許容濃度の勧告(2023)、日本産業衛生学会
 - 5) Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices、ACGIH(2023)
 - 6) ㈱タセト 社内資料(原材料SDS)
 - 7) 本データシートの最新版は、下記のホームページにてご確認ください。
<株式会社タセトホームページ//<https://www.taseto.com>>
-

記載内容の取扱い

本データシートは、製品の安全性に関する要求事項を記載しています。

本データシートは、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で当社の有する情報を取扱事業者に提供するものです。取扱事業者は、この情報に基づいて、自らの責任において、適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保障するものではなく、本データシートには記載されていない、当社が知見を有さない危険性及び有害性のある可能性があります。